

一関市

景観計画

資料編3 いちのせき百景の取り組み

資料編3. いちのせき百景の取り組み

3-1 いちのせき百景の取り組みについて

本市では景観計画策定にあたって、景観に対する啓発や意識向上、観光振興の観点から資源の発掘等を目的とした「いちのせき百景」の募集を行いました。

平成19年、20年の2ヵ年の実施により、76件の募集をいただきました。(平成19年度：62件、平成20年度：14件)

応募していただいた内容については、一関市景観計画検討委員会において審査しましたが、応募していただいたものには写真の添付されていないものもありますが、「いちのせき百景」は写真の良し悪しを決める写真コンテストではないことや、応募内容については、地域住民がそれぞれ大切に思っている風景・景観であるとの理由により、応募していただいたものは全て登録することとしました。

また、現時点では「百景」には届かない状況ですが、今後も継続募集を図るとともに、募集結果については公表していくことで、景観に対する啓発や意識向上に努めるほか、観光振興等の活用を図っていきます。(平成19年度に応募いただいた結果は、「一関市景観まちづくりポータルサイト」の「景観まちづくりマップ」で公表しています。)

(募集のチラシと応募用紙)



平成20年度
いちのせき百景募集
～あなたが大切に思う風景・景観を募集しています～

- 「いちのせき」らしいと感じる景観
- 美しく、心に残る景観
- 活気や賑わいのある景観
- 機能的で未来を感じる景観
- 由緒ある趣深い景観

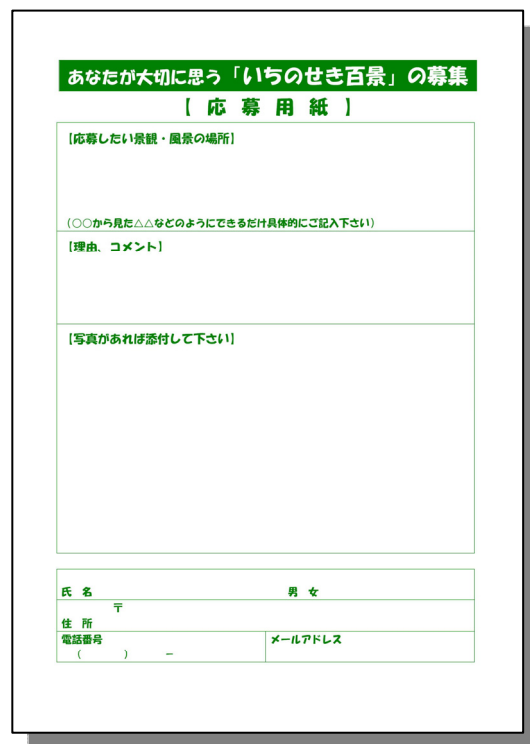
募集期間：平成20年12月1日(木)～20日(木) 当日消山指定
応募資格：どなたでも、お一人様1枚までご応募できます。

応募方法：市内外・各分野等に書き付けの応募用紙又は任意の用紙に
① 応募したい景観の場所(〇のから見た△△などできるだけ具体的にご記入下さい)
② 場所の名称、由来などのコメント等
③ 写真(写真がなくても応募できます。)
④ 応募者の住所・氏名・電話番号などの連絡先
などを記入の上、郵便、持参又は電子メールで応募してください。
(応募の際にご記入いただいた個人情報は、本募集以外の目的に使用いたしません。)

応募等：一関市景観計画(景観計画)にて審議を行います。結果については本人にご連絡するものと申し合っておりません。
応募用紙等は市のホームページの景観まちづくりポータルサイトからもダウンロードできます。

その他：
① 応募いただいた写真等の著作権は一切が持ち主のものとなります。
② 応募用紙等は市のホームページの景観まちづくりポータルサイトからもダウンロードできます。
③ いちのせき百景は写真コンテストではありません。

お問い合わせ先・応募先
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
一関市役所 建設部建築住宅課「いちのせき百景」係
TEL:0191-21-8532 FAX:0191-21-8800
Eメール: kenchiku@city.ichimossaki.iwate.jp



あなたが大切に思う「いちのせき百景」の募集
【応募用紙】

【応募したい景観・風景の場所】

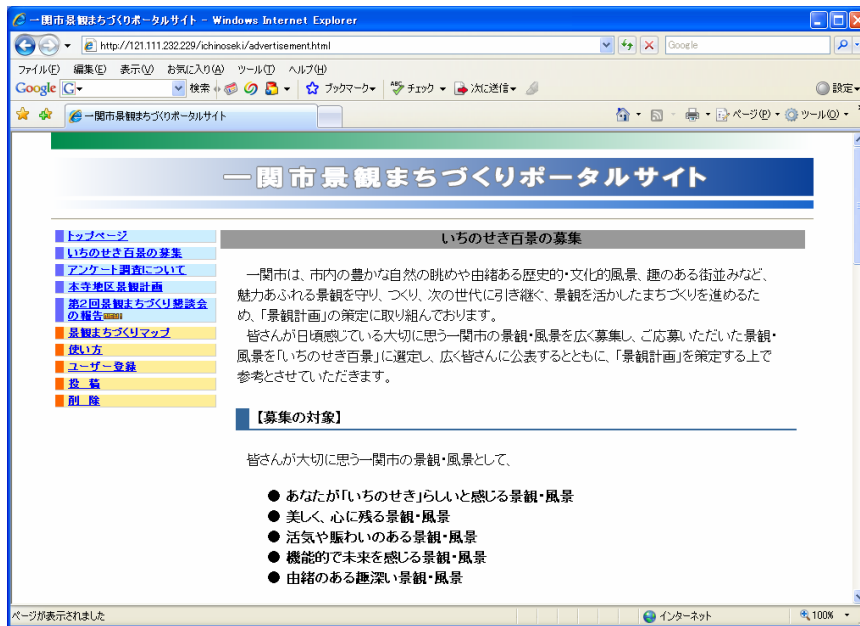
(〇〇から見た△△などのようにできるだけ具体的にご記入下さい)

【理由、コメント】

【写真があれば添付して下さい】

氏名 _____ 男 女 _____
〒 _____
住所 _____
電話番号 _____ メールアドレス _____
() -

(景観まちづくりポータルサイトからの募集)



3-2 いちのせき百景の採用箇所

①平成19年度の応募

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
1		<p>【景観・風景の場所】 室根山 蘆 東山詩碑から夕陽を望む（大東）</p> <p>【理由・コメント】 儒学者の街一関市を全望し遠く中国を仰ぎ見れる。 東山碑 風さわやかに姫滝分</p>
2		<p>【景観・風景の場所】 釣山公園から一望</p> <p>【理由・コメント】 見蘭抱僕の碑か儒学の旧市内を望み今を思いめぐらす。 撰文 館林鴻袖 大槻三代の歴史をふまえて一関の儒学の歴史を他の方へ是非紹介したい。</p>
3		<p>【景観・風景の場所】 蘭梅山（忠魂碑前、配志和社務所庭園）より 大槻先生の生家周辺より眺めた細谷、下大林方面磐井側・北上川合流 東には女性的な東稲山・烏兎ヶ森・室根山等、西には男性的な須川岳・奥羽山脈 蘭梅山（忠魂碑前、配志和社務所庭園）より</p> <p>【理由・コメント】 祖先の築きあげた一関郷土更生のため愛郷の心。 （照井太郎、佐藤庄太郎、横綱宮城山、大槻三兄弟先生等） 蘭梅山の美 （老杉の林、落葉林の風致等）</p>
4		<p>【景観・風景の場所】 東中田の高台（配水池）より望む。 東方には北上山地並びに東稲山、烏兎ヶ森、室根山等。西方には奥羽山脈連峰、須川岳、焼石山遠く岩手山等望めます。 四季折々に景観が望めます。</p> <p>【理由・コメント】 東中田民区は地方からの集合住居であり、私始め、一関地方を良く知らないなので、是非高台の登り、風景を見て欲しい場所です。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
5		<p>【景観・風景の場所】 小沼開電橋から見た摺沢発電所跡社宅・砂鉄川</p> <p>【理由・コメント】 子供の頃は遊泳の場所でもあった。賑わった頃の曲線のある砂鉄川の景観が今もその状態が変わっていない。</p>
6		<p>【景観・風景の場所】 小沼那須(清)様宅後峰より拝観した広大な室根山と山脈</p> <p>【理由・コメント】 室根山を中央に山脈が広がり秋から春にかけて澄みきった青空のもと、おもわず拝みたくなる景観である。</p>
7		<p>【景観・風景の場所】 小沼部落の集いの場公民館とお不動尊</p> <p>【理由・コメント】 小沼集落の憩いの場所であった。かつては火難除けに参ったと言われ小沼の歴史と文化が偲ばれる場所。</p>
8		<p>【景観・風景の場所】 山吹城址から見た街並みと室根山</p> <p>【理由・コメント】</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
9		<p>【景観・風景の場所】 由緒ある越深い景観 大東室蓬讓水の里を論から景観実現へ</p> <p>【理由・コメント】 大東に色々川があるが、大きく蓬萊山より出る興田川、室根山より流れる砂鉄川が渋民関ノ上地区と猿沢荒谷地区に沿った地点に合流点があり、その地点から砂鉄川にそって343号まで道路が整備されており、その市道より150m位散策路を整備すると室蓬讓水の里の景観をさらに実感できる。</p>
10		<p>【景観・風景の場所】 箱清水配水池より運動公園、市街地を見た風景</p> <p>【理由・コメント】 一関市街地をこれほど見渡せる場所には他にないような思われます。東は三ノ関から東大橋、一ノ関駅、新幹線一関トンネルまでの高架橋、広大な遊水池、東稲山、山目地区、市役所、中学校、小学校、萩荘、赤萩、遠く栗駒山等が一望できます。また、運動公園の地名のように、陸上競技場に野球場、子供達だけでなく大人にも楽しめる遊園地、遊歩道など更には釣山公園、蘭梅山の森も見えます。景観としてはとても素晴らしい場所だと思っております。この写真は箱清水配水池の高台から一望していますが、市民の憩いの場所としても最適であるようにおもいます。</p> <p>一関市でも環境整備に力をいれており、公園の周りには四季折々の草花や木が植えられてとても美しい環境になっています。春にはチューリップ、芝桜、秋にはどうだんつつじ、四季桜など芝生の中に綺麗に咲いています。</p> <p>特に、この運動公園は私も散歩のために毎日のように利用させていただいておりますが、多くの方々が散歩や、ジョギング、テニス、野球などのために県内外から四季を問わず訪れています。</p>
11		<p>【景観・風景の場所】 むかさり行列 (巖美町)</p> <p>【理由・コメント】 巖美町では毎年むかさり行列が行われております。平成15年が第1回になる行事です。昭和20年代にはよく見られた風景ですが、その後はあまり見られなくなりました。昔の結婚式は各家庭で行われていましたが、交通手段も無い時代ですから、花嫁が馬に乗って揺られながら花婿の家までいったものと思われまふ。沿道には沢山の観光客、隣近所の方々が沿道に立ち祝福をしています。その中で祝い酒を振る舞っている人が何人か見受けられました。のどかな昔のお振る舞いに、見ている人が感動して祝福をしている風景は、いつまでも残しておきたい一関の風景です。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
12		<p>【景観・風景の場所】 北上大橋と北上川 (川崎町)</p> <p>【理由・コメント】 橋の構造が珍しくバランスドタイプアーチ橋で国内に4橋しかなく、この形式では日本一。北上川の流れと橋の景観・風景ともに優れている場所としていつまでも残しておきたい所だと思います。</p>
13		<p>【景観・風景の場所】 ループ橋 (大東町大原山口)</p> <p>【理由・コメント】 国道343号のループ橋は川の流れとは違い上から下に向かって眺めると景観としてはよく見えると思います。赤松林とこんもりとした杉林とループの幾何学的円弧と橋の赤と白がよく調和していると思います。早春の頃は雪が残っており、日本の原風景そのものを感じるところです。</p>
14		<p>【景観・風景の場所】 磐井橋下流から磐井川、磐井橋、釣山公園を見た風景</p> <p>【理由・コメント】 磐井川の流れがS形に見える所で、自然の川の流れになっていることが大変良い景観を呈していると思います。また、釣山公園が春には桜、秋には紅葉と四季折々の風景が遠くから眺めることが出来、景観としては良い感じを与えていると思います。四季折々市民の憩いの場所としても良い景観を表していると思います。</p>
15		<p>【景観・風景の場所】 亥年集落の田園風景 (花泉町涌津)</p> <p>【理由・コメント】 亥の年集落は41世帯150人の小さな集落で、稲作中心の田園地帯です。「亥年」という地名はいのしし年と同じで国土地理院によると日本に一ヶ所、ここだけの地名。干支のいのしし年と同じのため12年毎に集落民あげて「いのしし年まつり」を開催している。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
16		<p>【景観・風景の場所】 庚申前バス停から少し坂を降りたところからの景色。</p> <p>【理由・コメント】 毎年、元旦初詣で吉田霊園までみんなで歩きますがその時眺める初日の出もすばらしいです。</p>
17		<p>【景観・風景の場所】 愛宕花相撲保存会が開催する「みちのく千厩赤ちゃん相撲大会」</p> <p>【理由・コメント】 大正時代に祭りの呼びものから始まった「花相撲」。戦中に途絶えていたが21年頃に復興し、平成15年に少子高齢化時代に「みちのく千厩赤ちゃん相撲大会」を開催し、赤ちゃんの健康祈願する県内外からの参加者で賑わう。</p>
18		<p>【景観・風景の場所】 奥の細道 (真柴牧沢地内)</p> <p>【理由・コメント】 松尾芭蕉が行脚した道、奥の細道、牧沢地内の道路、沿線には八幡宮、山神社、馬頭観音、馬歴神、水神、経塚等信仰に関するものが多く、又、和算の石碑等が多く歴史を感じられる景色となっている。旧道として残っている所もあります。</p>
19		<p>【景観・風景の場所】 滝境 (滝沢と狐禅寺の境にある滝沢川)</p> <p>【理由・コメント】 滝沢川の滝沢と狐禅寺の境にあり、延長 50m～60mの中に滝が数段あり、全体の高さ7～8m、その内大きな滝は5～6mある。全体が溪谷を体し、滝の上に滝神社の元神様と言われる滝明神社がある。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
20		<p>【景観・風景の場所】 須川パイロット地域と須川岳、室根山</p> <p>【理由・コメント】 昭和 40 年代に始まった国営農地開発事業地域である。それまでは丘陵地で山林原野であった。幾多の変遷を経て完成し、記念碑が建てられている。この地から、田園風景と共に須川岳、室根山が眺望できる。</p>
21		<p>【景観・風景の場所】 奥の細道と道士塚と須川岳 (滝沢字二又沢地内 牧沢と泥畑境)</p> <p>【理由・コメント】 真滝村史に、至心導士という人が断食して修行し、死期を悟って近くの洞窟で往生し、その導士を埋葬した所と伝えられています。又、松尾芭蕉が行脚した奥の細道であります。この地から須川パイロット地区の田園風景と西側山並みにそびえる須川岳が望めます。</p>
22		<p>【景観・風景の場所】 国道 284 号 (滝沢字九鬼地内から清水尻を望む)</p> <p>【理由・コメント】 真滝バイパス計画箇所盛土高 20m の高い盛土となり、この景色が大きく変わっていく場所。この地区には滝神社、キリスト関係の七ツもり (直径 7 ~ 8 m、高さ 1.5 ~ 2m) 等がある。</p>
23		<p>【景観・風景の場所】 国道 284 号 (滝沢字苦木地内から須川岳を望む)</p> <p>【理由・コメント】 国道 284 号から須川岳が大きく見える場所。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
24		<p>【景観・風景の場所】 千畳敷東側より見た桜と田村神社 釣山公園桜満開・釣山公園千畳敷頂上</p> <p>【理由・コメント】 この公園には敷種の桜の木が植えてあり、かつては花見時には飲食店が立ち並び一般客も先を競って場所取り、唄や踊りでとても賑やかな花見客で満席の場所でした。</p>
25		<p>【景観・風景の場所】 釣山公園の紅葉 公園の東側の中庭の上部 自然の生態花木園の休憩所より・朝8時頃</p> <p>【理由・コメント】 公園の紅葉と云っても毎年綺麗とは限りませんが、この年はとても色が鮮やかでした。</p>
26		<p>【景観・風景の場所】 一関夏祭り 大町通り 銀座通りより大町に至る間</p> <p>【理由・コメント】 毎年ながら一関夏祭りに老若男女総参加のイベントです。ことに若者達の気迫溢れる舞です。</p>
27		<p>【景観・風景の場所】 噴火口背景 西側登山道噴火口前</p> <p>【理由・コメント】 この登山道は蒸し場口登山道の西口にあり、登山者の下山道に利用され、四季を通じて美しいポピュラー道です</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
28		<p>【景観・風景の場所】 剣岳といわかがみ 須川賽の河原</p> <p>【理由・コメント】 いわかがみの群生と背景に剣岳とその稜線が四季を通しての美は名所であり、登山者を始め各散道者の心の慰め箇所です。</p>
29		<p>【景観・風景の場所】 名残り原と頂上 名残り原手前の湧口の高所 この高所から眺める名残り原前景と頂上</p> <p>【理由・コメント】 この風景は四季を通しての景観であり、絶景の場所であり、感動のひとつま。</p>
30		<p>【景観・風景の場所】 釣山の崖の上からの眺望</p> <p>【理由・コメント】 釣山西磐井川沿い崖亭あり、田村建顕公の新築にして軽装の建物ありと見え正徳4年(1715)正月29日獅山公御巡国御立寄の際、西の御茶屋に於いて御饗応の事ありとある。茶屋上段は広場があり断崖の上に休息のための大石が置かれ、ここからの見晴らしは絶大である。(殿様の物見石)</p>
31		<p>【景観・風景の場所】 磐井川河川敷堤防</p> <p>【理由・コメント】</p>




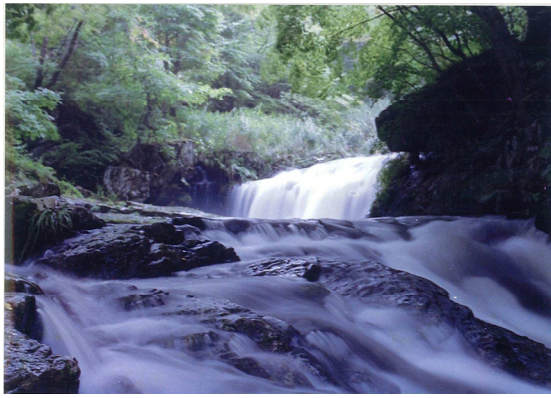
No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
32		<p>【景観・風景の場所】 磐井川河川敷から見た釣山</p> <p>【理由・コメント】</p>
33		<p>【景観・風景の場所】 須川</p> <p>【理由・コメント】</p>
34		<p>【景観・風景の場所】 真湯</p> <p>【理由・コメント】</p>
35		<p>【景観・風景の場所】 真湯（真湯大橋から見た所）</p> <p>【理由・コメント】</p>




No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
36		<p>【景観・風景の場所】 千厩のお盆の伝統行事「燈立て」</p> <p>【理由・コメント】 亡くなった人を供養する「燈立て」。余所にはなく千厩古来からの風習と聞く。お盆に「お盆こ回し」と言うことをやる。これも、何のかんの言う人もいるが、昔は皆んなで提灯を持ち寄って作ったと聞いている。今はお金になったが、袋には「御燈明（おとうみょう）料」と書くのはそのため。賛否両論あるが、負担にならない範囲で続けるべきと思うが。（古き互助の伝統を百景に入れて頂きたい。）</p>
37		<p>【景観・風景の場所】 東小田バス停から西小田橋までの溪流</p> <p>【理由・コメント】 バスから見る東小田バス停から西小田橋までの間の溪流。景観は「いい眺めだな」と思っています。道路側にも木を植えたら「ミニ奥入瀬溪流かも」</p>
38		<p>【景観・風景の場所】 四日市橋から見た大光寺山門</p> <p>【理由・コメント】 悠々と流れる千厩川（弓手川）に、春夏は「新緑」、秋は「紅葉」、葉が落ちても、冬景色また良し。</p>
39		<p>【景観・風景の場所】 千厩横屋（酒のくら交流施設）</p> <p>【理由・コメント】 どっしりと構えた石堀奥には、春夏は「新緑」、秋は「紅葉」、葉が落ちても、冬景色また良し。建物特に良し。皆んなが、いろいろ言っても、これからこんな建築物は作れまい。そして庭園も。何処から見ても、絵になると思うのだがね。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
40		<p>【景観・風景の場所】 一関市役所千厩支所の桜並木</p> <p>【理由・コメント】 古くは「千厩小学校の桜」から、以来「役場の桜」へ、今は「支所の桜」と歴史ある桜。千厩町民に愛され、親しまれて来た桜。衰えることなく、毎年綺麗に咲き続ける桜を末永く残して欲しい。(ライトアップされた夜桜また良し)</p>
41		<p>【景観・風景の場所】 新町・愛宕光のページェント</p> <p>【理由・コメント】 千厩の冬の町並みを淋しく感じていました。これに光を与えてくれたのが、新町・愛宕の光のページェントではないかと思いました。千厩商店街の繁栄を祈って末永く続くように</p>
42		<p>【景観・風景の場所】 愛宕神社神楽殿と勤労センターの秋 (愛宕児童公園・愛宕いこいの広場)</p> <p>【理由・コメント】 愛宕神社神楽殿は、旧東磐井にはここだけと聞きました。愛宕児童公園と愛宕いこいの広場の秋は、すばらしいと思っています。赤、青、黄色「色とりどりの木の紅葉」は見物です。神楽殿の保存、小公園の管理をよろしく。</p>
43		<p>【景観・風景の場所】 千厩川(弓手川)の景観(特に鯉のぼり) 清心幼稚園付近、摩王橋から室根山を望む。</p> <p>【理由・コメント】 千厩川は、芦・よしに囲われ、良い景観と言えないが、新町地区自治会で「鯉のぼり」を掲揚し、幼稚園児が「鯉のぼりの歌」を歌っている時は、とても綺麗にみえます。自治会では、永遠に続けたいと思っています。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
44		<p>【景観・風景の場所】 鳥海宇小森地域内の河川「畳石」で、下流から見た写真</p> <p>【理由・コメント】 地域では畳石と呼び、昔からとてもきれいな景観をしているし、子供の頃は水遊びをする自然豊かな場所である。 畳石と呼ぶ由縁は、大きな花崗岩が兩岸を畳でつなぐように敷き詰めているからではないでしょうか。 (川幅約 10m、長さ約 20m) その大きな花崗岩は長い歳月をかけて、川に洗われて平になり、水の流れを広げ、浅瀬を作り対岸に歩いて渡れるようにしている。 小森自治会は、この景観を保存しようと平成 11 年から土手に桜、まゆみ、つつじなどの苗木を植えて、子供会や老人クラブを中心に毎年草取りや草刈を行っている。 この場所の山の裏手には、江戸末期に蘭学者として活躍して高野長英が祖父高野元端の代わりに塾長として教えた小屋があることから、高野長英が少年時代に、地域の子供たちと一緒にこの場所で水遊びをしたと黙想される。</p>
45		<p>【景観・風景の場所】 萩荘の尾花が森から見た前九年の役古戦場、小松の柵の跡といわれる場所</p> <p>【理由・コメント】 小松の柵の跡は萩荘の尾花が森の東方、眼下に広がる平坦地（田園地帯）一帯で、古くから前九年の役における源氏（朝廷側）が清原氏の応援を得て安倍氏を攻めた端緒となった地である。</p>
46		<p>【景観・風景の場所】 東山町田河津字石ノ森、中之屋敷橋からみた下流立岩（県道 106 号）</p> <p>【理由・コメント】 この川が行き止まりかと思われる様に山がせまり高い岩がそびえ立っている。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
47		<p>【景観・風景の場所】 学問の神様と言われた菅原道真公の四男（あつしげ）秀才の精霊塔と道真公の石ほこら及び周辺池の整備完了なる。（千厩町磐清水字松森）</p> <p>【理由・コメント】 磐清水地区では、これらを地域の史跡として後世に守り伝えていこうとしている。史跡保存と地域づくり、学習の景観づくり。</p>
48		<p>【景観・風景の場所】 二宮金次郎学校（体験学習と自然観察）千厩町磐清水字北山 46</p> <p>歴史をひもといて、それを主体にした景観もよいです。</p> <p>【理由・コメント】 千厩商店街から北へ3 kmの里山に開校しました。昨今、殺伐とした世、そして財政難に鑑み金次郎の復興にかけた生涯を今見直す時です。自然の景観ばかりでなく、人づくりを再確認する時代です。市民みんなの学習の基本にかえろうではありませんか。</p>
49		<p>【景観・風景の場所】 「山吹城跡」 大原笠置</p> <p>【理由・コメント】 言い伝えのある「イチョウ」の木が空にそびえるように我が家から見えます。子供の頃に祖母から「葉がなくなったら雪が降るよ」と聞かされロマンに思った。散策に行った時に手を広げたりした、思い出の場所です。</p>
50		<p>【景観・風景の場所】 大原山吹地区の「棚田」</p> <p>【理由・コメント】 日本の棚田百選の一つとのことで、町が一望に見えます。我が家は終戦の前の年に疎開して、お世話になっている町ですし、又、育てていただいた町です。室根山がとてもよく見えて絶景の場所です。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
51		<p>【景観・風景の場所】 薄衣城跡から見た北上川</p> <p>【理由・コメント】 景観のすばらしさもさることながら、歴史的に思い出をはせても、その眺望はすばらしいです。</p>
52		<p>【景観・風景の場所】 砂鉄川の春</p> <p>【理由・コメント】</p>
53		<p>【景観・風景の場所】 棚田の田植の日</p> <p>【理由・コメント】</p>
54		<p>【景観・風景の場所】 小黑滝</p> <p>【理由・コメント】</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
55		<p>【景観・風景の場所】 げいびけい</p> <p>【理由・コメント】</p>
56		<p>【景観・風景の場所】 大東町のママさんバレー大会</p> <p>【理由・コメント】</p>
57		<p>【景観・風景の場所】 大東町渋民 東川院の秋</p> <p>【理由・コメント】</p>
58		<p>【景観・風景の場所】 大東室根高原牧場</p> <p>【理由・コメント】</p>




No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
59		<p>【景観・風景の場所】 室根山の三十三観音様</p> <p>【理由・コメント】</p>
60		<p>【景観・風景の場所】 大原寺跡地の桜</p> <p>【理由・コメント】</p>
61		<p>【景観・風景の場所】 大東町猿沢観福寺</p> <p>【理由・コメント】</p>
62		<p>【景観・風景の場所】 新幹線車窓から見える 曹洞宗曹源山 瑞川寺</p> <p>【理由・コメント】 田村藩御家中の数多くの優れた人材の菩提寺。天和2年田村藩重臣鈴木和泉守重信により仙台松音寺松庵堅貞大和尚が岩沼より現在地に移し田村藩士代々の墓所として開基したもので、340年の歴史ある墓地である。</p>

②平成20年度の応募

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
1		<p>【景観・風景の場所】 大東町渋民地区 渋民橋から見た室根山</p> <p>【理由・コメント】 芦東山（儒学者）の命名ともいわれる室蓬讓水の里・渋民の地は、昔から砂鉄川の恩恵を享受し、東方の室根山を朝夕眺めながら暮らしてきました。人々の生活を支え、悠久な流れは、時は流れても人々の心をとらえ、心の原風景として焼きついてやまない。</p>
2		<p>【景観・風景の場所】 一関遊水地と蘭梅山</p> <p>【理由・コメント】 洪水常襲地である一関遊水地の農地はとても広大で春には一面水のキャンパスに変化し、夏には好天の下で緑色へ変化し、収穫の秋には豊作を感じさせる黄金色に変化し、冬には白鳥が飛来する白銀の世界を見せてくれます。また、その奥に農地を見守るように聳える蘭梅山はとても頼もしく感じられます。</p>
3		<p>【景観・風景の場所】 照井堰・大江堰</p> <p>【理由・コメント】 平安時代より一関地方を潤してきた照井堰・大江堰は貴重な水脈として当地域発展の礎であると共に、四季折々・心癒せる風景を見せてくれます。</p>
4		<p>【景観・風景の場所】 自宅の庭先から眺めた室根山とその山並</p> <p>【理由・コメント】 室根山そのものと前面の二つの稜線と棚田の三つが右方向に流れる風景は平凡だが全体の調和がとれていて美しいと感じる（四季折々の風情がある）</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
5		<p>【景観・風景の場所】 薄衣の笠マツ：一関市川崎町薄衣字柏木329-2</p> <p>【理由・コメント】 薄衣の笠松は、赤松の一種で樹姿が笠型をしており、その樹勢、大きさ、樹形等において、岩手県随一といわれています。ここには3株の老松と7株の幼松が自生していますが、同じ種類のものといわれています。老松は、大きいもので、根元幹周り564cm、根元径180cm、樹高700cm。小さいものでも根元幹周り285cm、根元径91cm、樹高550cmとなっています。3本共、約600年は経過していると推定され、現地で実際に見てみますと感動するほど見事な松で迫力は満点といえます。昭和42年から所有者および地元の方々による笠松保存会を作り保存に尽力されております。</p>
6		<p>【景観・風景の場所】 一関市萩荘脇田郷：磐井川左岸川原より、浄水場・配水池を望む</p> <p>【理由・コメント】 脇田郷浄水場は、磐井川の表流水を汲み上げて浄水場で水をきれいにする（沈殿、ろ過、消毒など工程によってきれいにする）施設で、昭和52年3月に完成しています。一関市ではこの他にも、前堀の井戸水などを各家庭の飲み水として使っています。また、箱清水配水池は、浄水場で作られたきれいな水を各家庭に送るために一旦水を蓄えておく施設として建設されているものです。この写真からも分かるように、磐井川から取水して、脇田郷浄水場で水をきれいにし、更に各家庭に送るための配水池の一連の施設が、一箇所で見られるところは、市内でもここ以外にないと思います。一関市の上水道を知る上では、大変勉強になる場所としていつも見ております。この場所は、春には青葉若葉の新緑がとても美しく、また、その中に民家が点在しており風景としてとても良いところです。</p>
7		<p>【景観・風景の場所】 千厩より川崎・東山方面へ抜ける松川線（旧町道）の枯木峠は、小峠下バス停から続く桜並木を過ぎ、大きなカーブを曲がった視界の開けたところで振り返ると目の前に室根山がクッキリと見え、その下に磐清水・仏坂集落が一望出来る素晴らしい景色である。</p> <p>【理由・コメント】 春夏秋冬（桜、雲海、紅葉、日の出等々）山並みにもそれぞれ趣がある。また峠の我が家の庭からの眺めもよいところから景色を見るためだけの来客も多い。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
8		<p>【景観・風景の場所】 霜後の滝：一関市萩荘霜後</p> <p>【理由・コメント】 この滝は郷土史によると藤原基衡公が霜後の滝と命名されたと記録されています。滝の南側は、公園として休息なども出来る場所となっています。萩荘から巖美に通じる中間地点に位置して、近いこともあって両地区から滝を見に、また憩いの場所として、多くの人々が訪れています。小学校の時には遠足に行つて見たことがあります。市民として、一度は見ておきたいところと思います。</p>
9		<p>【景観・風景の場所】 立石山・二ノ神山から360°の景観（立石山：千厩町奥玉字立石沢 二ノ神山：大東町曾慶字山ノ沢）</p> <p>【理由・コメント】 ①上曾慶の美しい農村風景と室根山を一枚の写真に修められます。②やがて消えゆく運命の曾慶小学校の全容が見えます③東磐井郡内旧町村の山脈が殆ど見えます。④遠景に須川岳、焼石連峰、太田山（気仙沼市）がかすんで見えます。⑤眺望景観を維持するための短伐期林業を目指してクヌギの植林をしています。＜東方：小室根山、室根山、矢越山、大森山 南方：黄金山、保呂羽山、三嶋山 西方：枯木峠、富士の根山、東稲山、久手山 北方：逢来山、阿原山、天狗岩山、原台山 遠景：太田山（気仙沼市）、須川岳、焼石連峰＞</p>
10		<p>【景観・風景の場所】 産学官民協同で創る立石山・二ノ神山森林総合公園（立石山：千厩町奥玉字立石沢 二ノ神山：大東町曾慶字山ノ沢）</p> <p>【理由・コメント】 大東町と千厩町の境界線上の立石山を中心に森林の経済性追求と多機能の学習、研究、開発、実証し、誰でもが自由に参加し交流できる山に。【経済森林への想い】①間伐：先祖が造林した針葉樹林を地域の財産として子孫へ引き継ぐために。②植林：自分の代で利用できる森づくり。短伐期林業（くぬぎ中心）の確立③採種園整備：東北に自生する植物を収集・北国各地の環境整備に発送。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
11		<p>【景観・風景の場所】 一関市川崎町砂小田バス停より千厩方向へ500m位走った所：国道284号川崎町（通称 色の御前滝の前）</p> <p>【理由・コメント】 ケヤキは新緑の頃、上り下りする車の数々がケヤキを中央に見て、左側と右側の一方通行の道路であり、ケヤキがあたかも交通指導をしているように、真ん中にぐっと根を張り、左右に大きく伸びている枝は人の手のように見え、あたかも交通安全の手信号をしているように見える。道路整備のとき、伐採されるのを地域のみんで名木を残そうとした誠意が実り、行政も耳をかたむけたため、切られずに今もあの雄姿が生きている。このように人間社会は自然木との共生で交通安全も今なお脈々と続いている。</p>
12		<p>【景観・風景の場所】 千厩町千厩字駒の湯234 三嶋の湯わくわくランド（通称 三島温泉）</p> <p>【理由・コメント】 三嶋の山のふもとに冷泉を沸かしたお湯で、町中心部より北へ1km入った所に霊峰室根山を眺望できて、自然の閑静な山ふところの皆の憩いの場であり、建物も山小屋風で癒しの名所、唯一の休養地。三嶋山の麓から見下ろす景観が良い。周辺は山に囲まれ交通も良く野鳥さえずる声高し。ケヤキ大樹の向こうに室根山が眺められる景色は風光明媚と言える。下から三嶋を見上げる景色も良い。三嶋に行く曲がりくねった道の景色も良い。</p>
13		<p>【景観・風景の場所】 釣山から磐井川河川敷の眺め等</p> <p>【理由・コメント】 「一関」この地名をふと見聞きするたびに私の目は大きく見開き、耳はダンボの耳になるのです。そう、わたしは30数年前からのNSPファン。どうしてもNSPが青春を過ごした街、大好きな歌が生まれた街を感じたくて一関の街を巡りました。さとう楽器店、高梨食堂、高専、そして傘を差して登った釣山公園。歩く一歩一歩がここをNSPの3人が歩いたのだと思うと地面さえ愛おしく思えてなりません。</p> <p>2度目に一関を訪ねたのは次の年の12月初旬、それは間もなく行われた実父の大腸ガンの手術の成功を天野さんをお願いするため。一人で時折雪が舞う街を歩きました。文化センターのSLの前で佇み、磐井橋から白鳥遊ぶ磐井川を眺め、堤防に立つ桜の木の下で空を見上げ、河原のベンチに座り、こーんな河原の夕暮れ時にと口ずさみ、釣山公園に登り、東屋で空の天野さんに父の無事をお願いしました。あれからもう2年。父は闘病中の身ではありますが元気に過ごしています。</p> <p>今度は、大好きな桜が満開になる頃に一関を訪ねてみたいと思っています。</p>

No.	応募写真	景観・風景の場所と応募理由・コメント
14		<p>【景観・風景の場所】 上油田の笠松</p> <p>【理由・コメント】 昭和 43 年（1968）農業構造改善事業施行の際、名木笠松を移動せざるを得なくなる。この時造園家岩淵栄助氏に依頼する。岩淵栄助氏は若柳町川北に住す。「昭和 56 年 11 月 11 日作庭家【造園】として卓越なる技能を認められ、名工として労働大臣の表彰を受けた人である」笠松移動に当たっては岩淵氏の指導のもとに綿密に之を行い、少しも樹勢を損なうことなく今日に至っている。</p>